

第三者評価結果報告書

園名：幼保連携型認定こども園 苫小牧聖ルカ幼稚園

委員：吉田 重義

<評価基準> A：よくできている B：ほぼよくできている
C：あまりできていないので、一部検討を要する
D：まったくできていないので、改善を要する

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項など）		評価
「子ども達の発達に必要不可欠な存在である」というキリスト教の価値観のもとに、教育と保育の両面を備えた保育活動を行い、また、地域に「子育て支援施設」としての役割を担っている。		A
評価領域	特記事項	評価
1 園の教育目標	キリスト教の価値観を基盤として、教育と保育、「3つの柱」をもとにした保育活動の充実を図る。	A
2 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画	互環境を通して行う、教育と保育を兼ね、子ども達の主体的な活動を通して、心身の成長を目指す。	A
3 評価項目の達成及び取り組み状況	全22項目に関連し、具体的な計画、実践、評価のサイクルを大枠にした保育活動を進める。	A
4 園長の経営姿勢	教職員の意識を高め、より質の高い保育のための研修の充実と安心安全な環境づくりを努める。	A
5 教師の指導姿勢	子ども達一人ひとりの個性を大切に、認め合い、主体的な活動や「遊び」の改善、工夫に努めている。	A
6 日常の主な活動	日々の活動から、子ども達の心身の成長、発達を助長し、量・質・経験の積み重ねとなるよう取り組まれている。	A
7 幼稚園の主な行事	11つの行事が年間計画のもと、ねらいもつて活動し、子ども主体のものになっていることが工夫されている。	A
8 幼稚園と家族の連絡	登園・降園の時、1人1人懇談、おたより帳等を通じて、また保護者との日々の交流を大枠に「情報交換」を築いている。	A
9 園の情報公開	(園)の情報を「壁しかりより」「クラスより」「レクミー」などを通じてわかりやすく伝えられている。	A
10 保護者の活動	「森のようちえん」や各行事の協力などを通して、園の活動の理解や保護者同士の交流の場となっている。	A
11 今後取り組むべき課題	よりよい子ども達のための保育、経営の向上のため、研修内容を充実させ、教職員の共通理解を図る。 また、地域に開かれた幼稚園を目指す。	A

*その他